海外視察研修旅行シリーズ　2

台湾・台中へ温泉地交流の旅

日本旅館国際女将会

旅館ホテル経営者らと交流

日本旅館国際女将会（長坂正惠会長）は7月3日から6日まで、台中市政府観光旅遊局（陳盛山局長）の支援のもと台湾を訪問した。台中市では、現地の観光業界団体役員、温泉旅館経営者、ホテル経営者らとの交流・情報交換会に出席。台中州庁、旧台中駅、台中国家歌劇院なども視察した。台北では、日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴー）！日本」を運営するジーリーメディアグループを訪問し、訪日台湾人旅行客の最新トレンドなどについての講演を受けた。

あいさつする陳局長

今回の訪問団は、下呂温泉観光協会（瀧康洋会長）と台中市温泉観光協会（羅進洲理事長）が、2月23日に下呂温泉の水明館（瀧康洋社長）で「温泉地友好協定」を締結したことがきっかけで実現した。

台中市はこれまでに、大分県、由布院温泉旅館組合、別府市観光協会、三朝温泉旅館協同組合、下呂温泉観光協会と提携。10月には台中市で青森県平川市の温泉関係者らとの交流イベントも予定されている。

日本各地の旅館の女将がメンバーとなっている日本旅館国際女将会と交流を深めることで、台中市と日本各地の温泉地との提携・交流がさらに拡大することの期待を込める。今回は、日本旅館国際女将会の長坂正惠会長（下呂観光ホテルしょうげつ）が、台中市政府観光旅遊局の陳盛山局長から日本旅館国際女将会として招待を受け訪問した。

台中市政府観光旅遊局の主催で7月4日、台中市と日光温泉会館（Sun Hot Spring & Resort）で開かれた交流・情報交換会には、台中市の観光行政関係者、観光業界団体幹部、旅館・ホテル経営者、観光施設経営者、大学教授などが出席した。

陳局長は「ここ数年台中市は日本各地との友好提携を積極的に進めており、下呂温泉と台中市との提携によるご縁がきっかけで、日本旅館国際女将会の皆さまともつながることができた。この交流会が新たな交流のきっかけになればと願っている」とあいさつ。その上で「台中市政府が主催する『台中フローラ世界博覧会（台中花博）』が、2018年11月から19年4月まで開かれる。ぜひ再び台中を訪れてほしい」と述べた。

日本旅館国際女将会を創設した日本ホテル教育センターの石塚勉理事長は「日本旅館国際女将会の歩み」を紹介。長坂会長は「日本旅館の女将の役割と仕事」について講演した。

参加者

【台中市側】
陳盛山氏（台中市政府観光旅遊局長）、荘若孟氏（同主任秘書）、張倪華氏（同股長）、許庭瑜氏（同）、游仁哲氏（台中市国際観光発展協会理事長秘書・全国大飯店）、廖國宏氏（台中市観光旅館商業同業組合理事長・福華大飯店会長）、楊惠玫氏（台中市観光旅館商業同業組合総書長・福華大飯店シニアマネージャー）、鄭生昌氏（台中市旅館商業同業組合理事長・福爾摩沙酒店）、林粲鈞氏（台中市温泉観光協会理事・麒麟峰溫泉会館）、洪明峰氏（台中日光温泉会館副社長）、劉敏瑛氏（星享道酒店会長）、翁羿琦氏（陳允寶泉食品社長）、王喆氏（僑光科技大学教授）、潘意涵氏（谷關統一渡假村總經理）、楊佳慧氏（同）、他。

【日本側（敬称略）】
長坂正惠（下呂観光ホテルしょうげつ）、岡崎純子（深山荘高見屋）、須藤紀子（登別温泉滝乃家）、下竹原成実（指宿白水館）、宇田倭玖子（白壁荘）、須藤美由貴（金盛館せせらぎ）、須藤佳子（有馬館）、國米由公江（阿蘇の司ビラパーク）、松原冨子（マザーレイク）、小山田和子（同）、石塚勉（日本ホテル教育センター）、黒沢由美子（同）、江口英一（観光経済新聞社）。

台中市と日本の温泉地との交流

日　時	内　容
2015年11月27日	台中市と大分県が「観光友好交流連携に関する協定書」に調印
2016年２月24日	台中市温泉観光協会と大分県由布市の由布院温泉旅館組合とが観光友好交流協力協定を締結
2016年８月30日	台中市旅館商業同業公会と大分県別府市の別府市観光協会が温泉資源を活用した友好交流の協定書に調印
2016年９月８日	台中市の林佳龍市長と大分県の広瀬勝貞知事が「友好交流に関する覚書」を締結
2016年９月10～11日	台中市観光局が「温泉カーニバル」を開催。由布院温泉旅館組合、旅館組合関係者と由布院神楽保存会約20人が訪問
2016年９月15日	マンダリン航空、台中－大分間で定期チャーター便を運航
2016年10月４日	台中市温泉観光協会と鳥取県の三朝温泉旅館協同組合が温泉観光友好交流協定を締結
2017年２月23日	台中市温泉観光協会と岐阜県の下呂温泉観光協会が温泉地友好提携を締結

台湾人インバウンドセミナー

訪問団は7月3日、台湾と香港で日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴー）！日本」を運営するジーリーメディアグループの吉田賠一社長（=写真）から、台湾人・香港人インバウンドセミナーを受けた。セミナーは、同社が台北市内で展開する日本紹介アンテナショップ「樂吃購！MiCHi cafe」で開催した。

吉田社長は「台湾と香港は、世界で最も訪日リピーターが多い。2016年度のデータでは、総人口に占める訪日客数の割合が中国0・5％、韓国10％なのに対して、台湾・香港は20％に達している」と紹介。

またSNSについて「総人口に占めるフェイスブックアカウント数比率は、日本が15・6％、台湾が65・2％、香港が62・5％と述べ、「台湾と香港での情報発信にはフェイスブックの活用が有効」と強調した。

台湾・香港は訪日再訪率高い

后豊鉄馬道サイクリングロード

台中線の旧線廃線跡沿いに整備された全長約4・6キロの「大甲渓花梁」と全長1273メートルのサイクリング鉄橋」と全長1273メートル。途中には、長さ382メートルの9号トンネルなどを通る。

旧台中州庁

日本人設計士、森山松之介によって設計された旧台中州の庁舎。2002年に台中市歴史建築として登録され、2006年11月に市定旧跡に指定された。戦後の一時期は台中市政府が市庁舎として使用した。現在は、台中市政府都市発展局と環境保護局が入居している。

台中国家歌劇院

日本人建築家、伊東豊雄氏が6年余の歳月をかけて完成させた。2016年9月30日にこけら落としが行われた。大劇院、中劇院、小劇場の三つのオペラ劇場が入っている。

旧台中駅

日本統治時代の1916年に建設された赤れんが建築物である。2016年10月に台中駅付近が高架化されて新駅舎が誕生し、駅舎としての機能を終えた。台中市は旧駅舎を保存し、鉄道文化園区として新しい観光スポットにする計画だ。

白冷圳（はくれいしゅう）

日本人技師、磯田謙雄氏が設計した水利施設。1913年、サトウキビの必要になった山の中の地域「新社」に造られた。

山から山へ約2504メートルを運ぶ水路は全長16・6キロ。東洋最長のサイフォン式水路といわれ、約100年経った現在も使われている。

日本旅館国際女将会

日本旅館国際女将会は1995年、政府のビジット・ジャパン・キャンペーンに呼応し、観光政策支援、業界貢献への一つとして「旅館と女将を国際語に」をスローガンに、女将が自ら国際体験をして旅館内部から国際化を図ること、併せて日本の伝統的な旅館の料理、施設、サービスなどを紹介して訪日を促進することを目的に設立し、「旅館とホテル文化の国際交流シリーズ」を開始した。

1995～2009年の15年間で17カ国60都市を訪問。観光行政関係機関との公式行事を15都市で開催した。参加者は、累計2773人、現地関係者の招待数1200人、メディア掲載は約150点、取材出演テレビは45局などの実績を残した。

また、2010～2015年の5年間は「世界のホスピタリティ体験シリーズ」として6カ国19都市を訪問。参加者は累計45人。世界のホスピタリティ体験に加え、観光行政機関の表敬訪問、記念植樹などを行っている。

16年度から、日本旅館国際女将会の事務局を財団法人日本ホテル教育センター（石塚勉理事長）から、観光経済新聞社（積田朋子社長）に移行した。

16年は「海外視察研修シリーズ」の1回目として、ベトナムとカンボジアを訪問した。